

<h1 style="text-align: center; color: red;">ブラインド型消防訓練 リフレクションシート(記載例)</h1>		事業所名	スーパー〇〇東根店 〇〇保育園 etc.	訓練日時	令和 〇 年 〇 月 〇 日
		防火管理者	東根 太郎	出火場所	〇階 東側玄関 〇歳児保育室 etc.
Keep(良かった点・継続すること)		Try(火災対応のために新たに取り組むこと※次回検証)			
<ul style="list-style-type: none"> ・建物利用者を火元(煙)に近づけることなく避難誘導できた。(店舗等) ・自動火災報知設備を活用して火元を早期発見できた。 ・各職員が消火器の位置を把握していたため、早期に初期消火ができた。 ・早期に119番通報できた。 ・普段から使用しているインカムで円滑にコミュニケーションが取れた。 ・子供たちが転ぶことなく安全に避難できた。(保育園等) 		<ul style="list-style-type: none"> ・自動火災報知設備の使い方(警戒区域図の見方)を全職員で確認する。 ・警戒区域図をコピーして各部屋に貼っておく。 ・各部署で消防設備の使い方について研修する。 ・より消火器を発見しやすいように天井吊り下げ型の標識を設置する。 ・避難口、防火戸、屋内消火栓の前に物を置かないように、張り紙やテープによる表示をする。 ・119番で伝えること(建物の正式名称、住所、出火場所等)をまとめる。建物内(危険な場所)で通報することのないように避難の際に持ち出せるようにしておく。 ・少ない職員による避難誘導を検討するための図上訓練を実施する。 			
Problem(問題点・改善すること)		消防訓練へのご意見・ご要望・ご感想等をご自由にお書きください。 今後の消防隊の活動、消防訓練指導の参考とさせていただきます。			
<ul style="list-style-type: none"> ・火元を発見するまでに時間がかかった。 ・消防設備の使い方を知らない職員がいて使えなかった。 ・初期消火失敗後に火元の部屋のドアを閉め忘れて煙が広がった。 ・119番通報したが上手く伝えられなかった。建物内で通報したので危険。 ・避難経路に物が置いてあって避難が遅れた。避難できなかった。 ・防火戸、屋内消火栓の前に物が置いてあって使えなかった。 ・利用者数に対して職員数が少なく避難に時間がかかった。(福祉施設等) 		<ul style="list-style-type: none"> ・実際の火災に対応するためにブラインド型訓練は非常に重要だと感じた。 ・〇〇設備の使用方法が複雑でわかりづらかった。 (「こうして欲しかった。」等があれば、できるだけ具体的に記載してください。) ・住宅での火災予防、火災への対応についても詳しく聞いてみたい。 			

ブラインド型消防訓練リフレクションシートの目的

消防訓練後の振り返りを単なる反省会にしないためにリフレクションシートを活用して下さい。
「良かった点(Keep)」、「悪かった点(Problem)」の両方を出し合い可視化し、客観的に現状を把握しましょう。
そして本当の火災に対応するために「改善すべき点(Try)」を明確にし、今後組織で取り組んでください。

リフレクションシートの書き方

Keep(良かった点・継続すること)

訓練の中で上手くいったこと、工夫が生かされたことなど、今後も継続すべき点について書き出して下さい。
但し、Keepで挙げられた点にも、実はProblemが隠されているかもしれません。例えば、早期に119通報が出来た(Keep)が、実は燃えている建物の中で通報していた(Problem)など。こういった点を見逃さないように参加者全員で客観的に分析しましょう。

Problem(問題点・改善すること)

このProblemは本当の火災へ対応するために非常に重要なプロセスです。訓練の中で失敗したこと、気になったことを書き出して下さい。
但し、「人」に対する責任追求で問題は解決しません。あくまで失敗した「事柄」、問題となった「事柄」を挙げて下さい。
誰もが忌憚りの無い意見を出し合える雰囲気作りが大切です。参加者全員で、何が原因でそうなったのかを客観的に分析しましょう。

Try(火災対応のために新たに取り組むこと※次回検証)

Problemで出た問題点の原因を解明したら、どうすれば上手くいったのか、今後はどうすべきか、の解決策を書き出して下さい。
また、Keepで挙げられた良かった点についても、さらに良くできないか考えてみましょう。いずれも、「次は頑張ろう！」といった精神論ではなく、やるべきことを具体的に書き出して下さい。あくまで本当の火災への対応を意識し、消防訓練のための取り組みにならないように注意してください。

Tryで書き出したことの達成度は次回のブラインド型消防訓練で消防職員と一緒に検証します。
達成度が低かった場合は、その原因を究明し更なる対策を考えましょう。